

～ コンテンツ ～

- ◎御講演 「変貌する国際情勢と日本の外交」
外務事務次官 杉山 晋輔氏
- 【大使の手紙】 アラブとアフリカの文化がまじわる国
在モーリタニア大使館 特命全権大使 清水 久継 氏
- 【オピニオン】 ナショナリズム復権
杏林大学特任教授・元バチカン大使 上野 景文 氏
- 【会員のページ】 「世相雑感」への会員の方のご投稿をお待ちしています

～ 協会報表紙 ～



日本外交協会報

The Society for Promotion of Japanese Diplomacy

発行:(一社)日本外交協会 URL <http://www.spjd.or.jp>

平成29年 2月23日号

「変貌する国際情勢と日本の外交」

外務事務次官

杉山 晋輔 氏

(平成29年1月30日 於日本記者クラブ)



安倍晋三総理は国際協調主義に基づく積極的平和主義を、地球儀を俯瞰する形で行うと述べておられます。お配りした世界地図には全部ではありませんが、世界の主要問題が書き込んであります。

国内政治の安定に支えられた「安倍外交」

上から反時計回りに説明しましょう。ロシアの問題、Brexit (ブレキジット)、I S I L (イスラム国) やシリア情勢、テロ、難民問題に揺れる中東、インド太平洋、A S E A N (東南アジア諸国連合)、歴史問題への対応とか、T P P (環太平洋パートナーシップ協定)、F T A (自由貿易協定) などの自由貿易推進と資源の安定確保。そして気候変動、鳥インフル、軍縮・不拡散といったグローバル・イシューです。今、日本のマスコミを一番騒がしている米国のトランプ新政権への対処。それから日本にとっては直接の、質的に段階が上がった脅威である朝鮮半島。北朝鮮はもちろんです。南の韓国は脅威ではなく一番大切な友好国の少なくとも一つですが、不安定な国内事情で日韓関係もなかなか難しい。最後に日本に

安倍政権は第1次を入れると就任以来5年以上を経過しました。少なくともこの4年間、外務大臣、副総理兼財務大臣、官房長官といった主要閣僚は替わりませんでした。珍しいことです。長くさえやれば良いということでもないかもしれませんが、4、5年というのは国際的に見れば長いわけではありません。ロシアのプーチン長期政権は別にしても、中国の国家主席はだいたい5年2期で10年、アメリカ大統領は1期4年で多くは2期8年の任期を務めます。イギリスの首相は任期5年で解散なしにしました。韓国大統領は1期5年です。

日本ではここ20年ぐらいいは、だいたい2年に1回指導者が替わり、ひどい時には半年で外務大臣が替わりました。それに比べれば今は国内政治が安定しています。アベノミクスはまだ道半ばかもしれませんが、一時あった「少子高齢化・財政赤字・デフレマインドで日本はだんだん終わりになる」といった感じはなくなってきました。人の期待値が大きくなることは非常に良いことです。状況は前に比べれば、段違いに良くなっている気がします。

※ご注意: 会報は会員専用のサービスのため、ご購入いただくには、当協会にご入会くださいますようお願い致します。

ご入会は「入会のご案内」よりお問合せください。